

加古川中央市民病院増築棟及び既存棟改修部分の供用開始について

1 経緯

2016（平成28）年7月に開院した加古川中央市民病院は、高度専門化し続ける医療ニーズに的確に応え、感染症に対応した医療機能の向上や災害への備えの増強を図るとともに、患者・職員にとって、より満足度の高い高度急性期病院として地域に貢献するため、2022（令和4年）夏から増築工事を実施し、2024（令和6年）3月に増築部分が完成し、4月より増築部分の供用を開始しました。

また、増築工事と並行して既存部分の一部を改修し、7月1日より供用を開始しています。

2 概要

（1）増築部分

- ・鉄筋コンクリート造（*免震構造）・7F建・延床面積6,459.58㎡
- ・1F：リネン庫等
- ・2F：外来診察室、がん相談支援センター、緩和ケアセンター等
- ・3F：事務室、更衣室、研修室等
- ・4F：ハイブリッド手術室1室、一般手術室1室
- ・5F：病棟（感染症対応）
- ・6F：講堂、備蓄倉庫等
- ・7F：機械室

（2）既存棟改修部分

- ・既存棟3Fの一部 → 医局、図書室、役員ホールの拡充
- ・既存棟4Fの一部 → サテライトファーマシー、組立滅菌室、細菌検査室、遺伝子検査室の整備
- ・既存棟5Fの一部 → 緩和ケア病棟（個室8室）整備

3 参考資料

加古川中央市民病院 増築と改築について